

近畿地方整備局情報

近畿地方整備局の災害支援活動状況

平成24年7月の九州北部豪雨、8月の近畿中部における局地的豪雨での取り組みについて概要をお知らせいたします。

九州北部豪雨では、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として7月14日～20日まで13名（延べ74人日）を派遣し、九州地方整備局と近畿地方整備局との連絡調整、南阿蘇村の被害状況調査、阿蘇市の被害状況調査と排水ポンプ車による行方不明者捜索等を行うため、ヘリコプター（きんき号）、排水ポンプ車2台、照明車2台、パトロール車3台の災害対策用機械と災害復旧用資材として大型土嚢袋（2,000袋）による支援を行いました。

また、近畿中部の局地的豪雨では、8月14日～30日まで緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）等を宇治市、大津市に、8月14日～9月4日まで災害対策現地情報連絡員（リエゾン）を大津市役所、宇治市役所等に派遣するとともに、ヘリコプターや災害対策用機械による調査、復旧支援活動を行いました。

■被災翌日(7月15日)に九州地方整備局管内に4班11名を派遣し、活動に着手

◇土砂災害の被害が著しい熊本県阿蘇市において、住民等捜査のため機械班（排水ポンプ車、照明車各2台）が排水作業を実施。



着手前の打合せ



夜を徹しての排水状況(21:35～)

<活動の概要>

活動内容:住民等捜査のための排水(機械班)

活動場所:熊本県阿蘇市一の宮町地先

稼働車両:排水ポンプ車、照明車 各2台

活動時間:7/15 21:35～7/16 5:00



夜が明け排水完了後の様子(5:15) ※車両進行方向右から左に向けて排水

■被災翌日(7月15日)に九州地方整備局管内に4班11名を派遣し、活動に着手

◇土砂災害の被害が著しい熊本県南阿蘇村において、白川、黒川合流点付近（立野ダムサイト上流）において被災状況を調査。



村道崩落箇所の調査



黒川の河床からの調査

<活動の概要>

活動内容:被災状況調査(現地班)

活動場所:熊本県南阿蘇村白川、黒川合流点付近

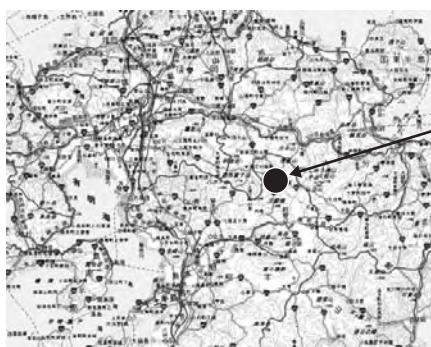
活動期間:7/16 11:00~15:00



■熊本県 阿蘇市・南阿蘇村で2班10名が被災状況調査を実施

◇土砂災害の被害が著しい熊本県阿蘇市狩尾地先付近において、市道狩尾幹線の被災状況調査を実施。

◇南阿蘇村 岸野下橋・金間橋・川端橋の三橋について被災状況を確認。



<活動の概要>

活動内容:被災状況調査

活動場所:熊本県阿蘇市狩尾付近
(市道 狩尾幹線)

活動場所:熊本県南阿蘇村 3カ所
(岸野下橋・金間橋・川端橋)

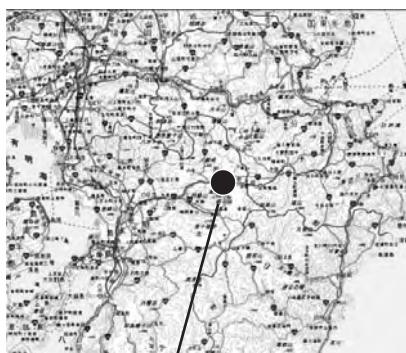
活動期間:7/17 午前 現地調査

活動期間:7/17 午後 役場等と打合せ



■近畿機械班(7月17日)の活動

◇土砂災害の被害が著しい熊本県阿蘇市において、国道57号の法面崩落箇所の仮橋設置作業に向けて、機械班(排水ポンプ車、照明車 各2台)が排水作業を実施中。



位置図



<活動の概要>

活動内容:土砂災害箇所の排水(機械班)
活動場所:熊本県阿蘇市一の宮町地先
稼働車両:排水ポンプ車、照明車 各2台
活動時間:7/17 15:00~排水作業開始



ポンプ車配置箇所

上空からの現場

排水ポンプ車等作業状況



ポンプ車配置状況



ポンプ設置状況(湛水池)



排水先の状況

■近畿TECの調査結果を阿蘇市・南阿蘇村に報告

◇熊本県阿蘇市市道狩尾幹線と南阿蘇村岸野下橋・金間橋・川端橋の三橋での被災状況調査をとりまとめました

◇南阿蘇村長と阿蘇市長に調査結果を説明し、手渡しました



現地調査結果をとりまとめる隊員たち



<活動の概要>

活動内容:被災状況調査
活動場所:熊本県阿蘇市狩尾付近
(市道 狩尾幹線)
活動場所:熊本県南阿蘇村3カ所
(岸野下橋・金間橋・川端橋)
活動期間:7/18午前 調査のまとめ
活動期間:7/18午後 役場等へ報告

南阿蘇村での調査報告 時間:14:30~ 場所:南阿蘇村 村長室
出席者:南阿蘇村:長野敏也 村長、坂田一廣 建設課長
TEC 隊:大西班長、山本、嶋本、加藤、宮下 隊員 5名



村長と建設課長に調査結果を説明



南阿蘇村長に調査結果手渡す

阿蘇市での調査報告 時間:15:30~ 場所:阿蘇市役所 市長室
出席者:阿蘇市:佐藤義興 市長、土木部長、建設課長、経済部長、農政課長
TEC 隊:綾木班長、藤原、田中、鎗野、鎌田 隊員 5名



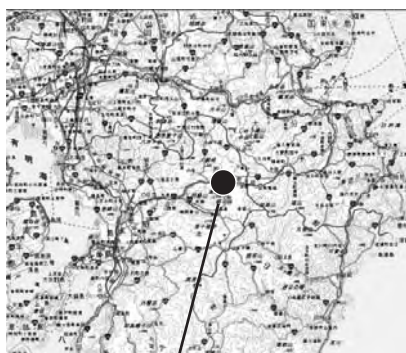
市長らに調査結果を説明



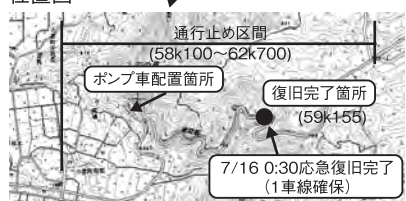
阿蘇市長に調査結果を手渡す

■近畿機械班(7月17～18日)の活動

◇ 土砂災害の被害が著しい熊本県阿蘇市において、国道57号の法面崩落箇所の仮橋設置作業に向けて、機械班(排水ポンプ車、照明車 各2台)が排水作業を完了。



位置図



<活動の概要>

活動内容:土砂災害箇所の排水(機械班)
活動場所:熊本県阿蘇市一の宮町地先
稼働車両:排水ポンプ車、照明車 各2台
活動時間:7/17 15:00～7/18 7:30



上空からの現場



ポンプ車配置状況



ポンプ設置状況



7/17(排水前)



7/18(排水後)

排水効果
(総排水量 約2万m³)

約1.4m水位低下

平成24年8月14日局地的豪雨での緊急災害対策派遣隊等の取り組み

■緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣

・宇治市、大津市からの要請を受け、8月14日から8月30日までの間に

36人、延べ144人・日 を派遣

・京都府からの要請を受け、高度技術指導班(国土技術政策研究所1名・土木研究所1名)を弥陀次郎川の破堤現場調査に派遣(8/20)

班の種類	班数	実人員	延べ人員(人・日)
道路班	5班	18	68
河川班	4班	14	60
災害業務相談班	1班	2	8
機械班	2班	2	2
計		36	144

■TEC-FORCE等による被災箇所調査

・道路・河川の被災箇所227箇所を調査し、調査結果を市へ報告

	宇治市			大津市		
	班数	区間数	箇所数	班数	区間数	箇所数
道 路	4	22	185	2	1	5
河 川	4	9	27	1	2	10

※同一班が両市で調査したほか、同一箇所を複数班が重複して調査している場合があるため、上表の数値の合計は一致しない



河川護岸の被災調査



道路法面の被災調査



8月30日 宇治市長へ調査結果を報告



8月20日 大津市長へ調査結果を報告

■リエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣

・ 8月14日から9月4日までの間に、大津市役所等に34人、延べ72人・日 を派遣

・ 各自治体の災害対策本部に参加し、自治体の状況、支援ニーズを把握し、近畿地方整備局の災害対策本部に伝達するほか、自治体業務の支援を実施

派遣先	実人員	延べ人員 (人・日)
滋賀県大津土木事務所	4	4
大津市役所	12	25
宇治市役所	15	40
宇治田原町役場	3	3
計	34	72



災害対策本部会議に出席



支援要請の諸調整

■災害対策ヘリコプターからの被災箇所調査

8月14日9:30から防災ヘリ【きんき号】による浸水範囲や被害状況の調査を実施。

(8/14 19:00時点で宅地浸水は概ね解消。)

京都府の管理する弥陀次郎川の破堤箇所及び浸水エリアを確認 (宇治川合流点から上流530～560mの左岸側で決壊)



きんき号



五ヶ庄地区浸水エリア40ha

※被災後、現地での浸水痕跡調査及び住民への聞き取り調査を行い、約40haの浸水を確認

■災害対策用機械出動台数[9/4現在]

8月14日から災害対策用機械 (排水ポンプ車、照明車、路面清掃車、側溝清掃車、排水管清掃車、散水車 等) 延べ248台・日を派遣

■災害対策用機械の活動状況

自治体からの要請を受け、堤防の決壊等による浸水被害に対し、排水ポンプ車で排水作業を支援
・宇治市五ヶ庄地区、交野市私部地区へ 排水ポンプ車、照明車(延べ122台・日)



ポンプ設置状況



照明車で夜間作業の支援

弥陀次郎川堤防の決壊箇所の排水作業



排水作業状況

排水作業前

排水作業後

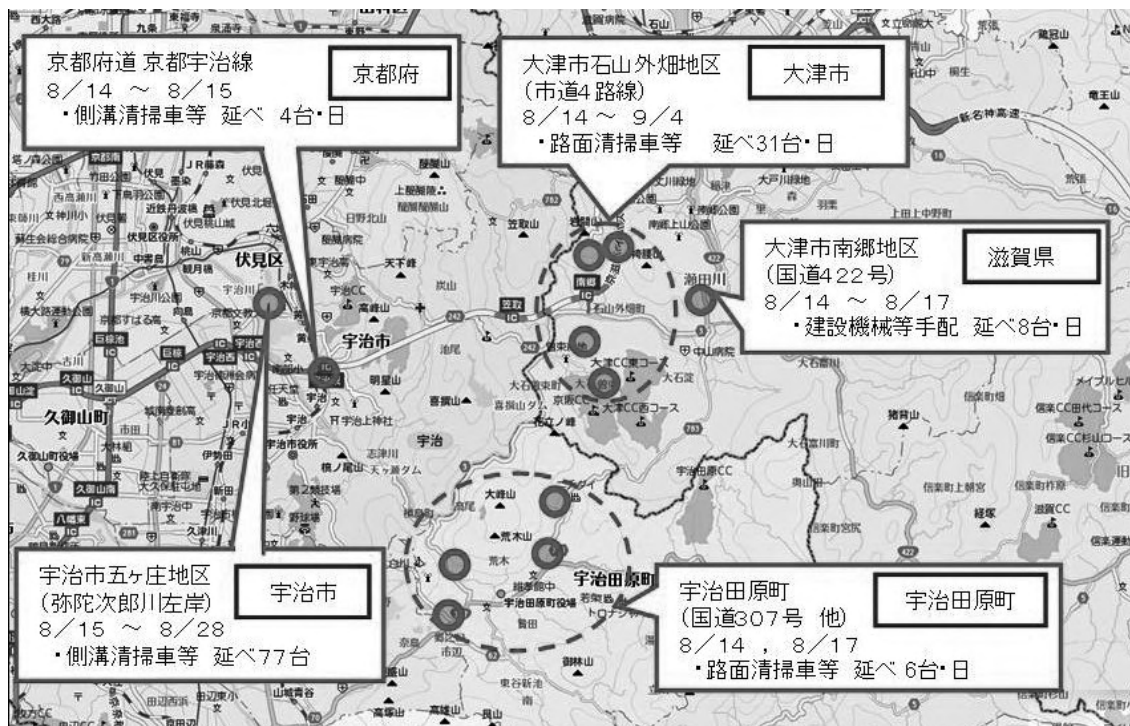
交野市の浸水箇所の排水作業

■道路清掃作業の支援

自治体からの要請を受け、土砂撤去や道路清掃、側溝清掃、排水管清掃作業を支援

・大津市石山外畑地区、内畑地区、宇治市田原町、宇治市五ヶ庄地区へ

路面清掃車、側溝清掃車、排水管清掃車、散水車 等 (延べ126台・日)



宇治市五ヶ庄地区の土砂撤去・清掃作業



宇治市田原町の路面清掃作業